

# 令和元年度 学校自己評価システムシート

# (私立 春日部共栄高等学校)

目指す学校像	全人的人間の育成という精神を基礎として、知、徳、体の調和のとれた豊かな人間性を育み、社会の発展に寄与する有能な人材を養成する。
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 社会貢献の意識を基礎とした高い志を育む自治活動の展開</li> <li>2 生徒からの信頼や期待に高い水準で応え得る授業を中心とした教育活動の実践</li> <li>3 生徒の可能性を引き出し、生徒の夢を実現する進路指導の充実</li> <li>4 生徒、保護者、卒業生をはじめとする学校関係者への情報提供の推進</li> </ol>
------	--

達成度	A	目標がほぼ達成できた
	B	目標が概ね達成できた
	C	取り組みに変化の兆しがみられた
	D	取り組みが不十分であった

<学校関係者評価委員会>	
協議委員 (学校関係者)	7名
内部委員 (教職員)	8名

学校自己評価				学校関係者評価		
年度目標			年度評価		年度評価	
番号	評価項目	具体策と評価指標	達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	
学校関係者からの評価・要望等						
1	<p>①「至誠一貫」の精神のもと、規範意識を高めリーダーシップを発揮できる人材育成とその伝統づくり</p> <p>②年齢に応じた社会貢献やボランティア活動の実践</p> <p>③生徒どうしが互いに応援しあい、達成感を共有できる環境づくり</p>	<p>a. 公共の場でのマナーや周りへの配慮、また情報モラルの向上を目指す継続的な指導 →学校生活アンケート 設問1・2で①②の回答率90%以上 設問3・4で①②の回答率80%以上</p> <p>b. 生徒の主体的発信を軸にした自治活動の確立 →学校生活アンケート 設問5で①②の回答率80%以上</p> <p>a. ボランティアに対する意識啓発と年間を通じたはたらきかけ →学校生活アンケート 設問6で①②の回答率80%以上</p> <p>b. 災害時、緊急時の対応と地域への社会貢献 →学校生活アンケート 設問7で①②の回答率80%以上</p> <p>a. 「快音」等を利用した啓蒙活動の充実とお互いを認め合う意識づくり →学校生活アンケート 設問8で①②の回答率80%以上</p> <p>b. ポートフォリオの活用による自己肯定感の高揚と進路開拓 →学校生活アンケート 設問9で①②の回答率70%以上</p>	<p>a. 公共マナーについては97.2%、挨拶・感謝の気持ちについては94.8%、交通ルールについては96.6%の生徒が①②と回答したが、スマホのルール作りでは55.9%にとどまった。</p> <p>b. 生徒どうしでの自浄作用の意識では、85%の生徒が①②と回答している。</p> <p>a. ボランティアへの参加、協力では①②に回答した生徒が57.4%、教員アンケートでもはたらきかけへの感触は62.0%にとどまっている。</p> <p>b. 防災への意識は①②が84.4%と昨年より少しであるが向上した。</p> <p>a. 生徒どうしの相互尊重・相互応援では①②が73.6%ともう一步の結果であった。</p> <p>b. ポートフォリオの活用では、①②の回答が生徒で36.2%、教員の感触も50.0%と低い結果であった。</p>	<p>A</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>A</p>	<p>a. 生徒の規範意識に関する自己肯定は高いが、外部からの苦情が皆無ではなく、交通ルール等も含め粘り強く対処していく。また、スマホ利用の時代に応じたルール作りを進める。</p> <p>b. 生徒の主体的な自治活動を確立させるため、生徒どうしで注意喚起する機会を多く作り、生徒主導型の自治活動への移行を目指す。</p> <p>a. ボランティアへの意識が生徒のキャリア教育に繋る側面もあり、生徒指導部の最重要項目として取り組んでいく。</p> <p>b. 緊急時の対応について、全ての教職員が同じレベルで対応できるような態勢を整える。</p> <p>a. 特定クラブに偏らず各クラブの目標や実情に応じた情報提供として「快音」を活用する。</p> <p>b. 生徒に浸透するまで記録の取り方を粘り強く指導することが進路開拓にも繋がることを意識しながら個人面談等でフォローしていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな取り組みについて年々クオリティが上がっていると感じる。生徒もそれによく応えてくれていると思うが、アンケート結果をみるとうまくついてこれていない生徒も一部いるようであり、そうした生徒への対応もお願いしたい。</li> <li>・教育環境の変化に柔軟に対応しながらいろいろな改革を行っており素晴らしいと感じる。また、学校全体として「文武両道」の精神が共有されていることが改めて実感できる。</li> <li>・ネットトラブルなどSNS上で発生する問題は、外からはとても見えにくい世界であったり、対人関係が複雑に絡むなど対応が非常に難しく、学校だけでは限界があるであろう。ネットパトロールなど、外部の機関とも連携しながら対処していく必要があると考える。</li> <li>・学習に対する生徒の意識は年々向上しているようであるが、ボランティアや相互応援の項目ではここ数年目標に届いておらず残念である。他者への関心が薄いのか、共感が乏しいのか分らないが、社会に参加しているという感覚を大切にしたいと思う。</li> <li>・1年次から生徒だけでなく保護者も対象にした進路説明会が開催されており、早い段階からいろいろな進路情報が発信されていることに感謝している。3年になり進路希望先を決めていく流れでも保護者の意見に配慮していただくとありがたい。</li> <li>・生徒への情報発信のツールとして加わった「Academic Issues」は大変分かりやすく有効であると感じる。生徒にとって進路の道標になることを期待する。</li> <li>・グローバル教育とは英語教育+αであり、そのαの部分大切にしたい。今まででも行われていることではあるが、日本にいる外国人との交流をさらに深めていけると良い。</li> <li>・各評価項目について高い数値目標を掲げながらいろいろな取り組みを行っており、それに対する評価もきちんと行っていると感じる。</li> </ul>
2	<p>①生徒の自己学習力育成を可能にする授業の実践とスキームの策定</p> <p>②授業点検と改善の実施</p>	<p>a. 家庭学習の模範モデルの定期的な提示 →学校生活アンケート 設問13で①②の回答率80%以上</p> <p>b. 生徒個々の家庭学習計画の作成と実践 →学校生活アンケート 設問10~12で①②の回答率70%以上</p> <p>c. 個人面談を中心とした生徒個々に応じた学習・進路・生活指導の充実 →学校生活アンケート 設問18で①②の回答率70%以上</p> <p>a. 授業アンケートの活用による授業点検と改善 →授業アンケート 総合満足度で①②の回答率85%以上</p>	<p>a. 家庭学習の模範モデルの提示は84.5%の生徒が役立っていると回答している。</p> <p>b. ①②の回答が、計画的学習では71.8%、ステップアップの活用では56.3%であり、2時間以上の自学自習を確保している生徒は48.4%であった。</p> <p>c. 90.7%の生徒が担任や教科担当者との個人面談を有効と感じている。</p> <p>a. 授業に対する総合満足度は89.5%の生徒が①②と回答しており、教員も88.0が授業アンケートを活用し、授業点検していると回答。</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>a. ステップアップの効果的な活用のため、モデルケースを提示する等、働きかけを積極的に行う。</p> <p>b. 定期考査を期末考査のみとし、単元テストや課題等の短いスパンでのスパイラル学習による学力の着実な定着を図る。</p> <p>c. 面談やHR、授業等を通してクラス・生徒を注視し、HRでの働きかけや授業の内容、進捗、評価等を常に検証、改善していく。</p> <p>a. 全体としては生徒の評価、教員の手応えともに高いが、クラスごと、教科ごとの結果や保護者の満足度にも注意していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習に対する生徒の意識は年々向上しているようであるが、ボランティアや相互応援の項目ではここ数年目標に届いておらず残念である。他者への関心が薄いのか、共感が乏しいのか分らないが、社会に参加しているという感覚を大切にしたいと思う。</li> <li>・1年次から生徒だけでなく保護者も対象にした進路説明会が開催されており、早い段階からいろいろな進路情報が発信されていることに感謝している。3年になり進路希望先を決めていく流れでも保護者の意見に配慮していただくとありがたい。</li> <li>・生徒への情報発信のツールとして加わった「Academic Issues」は大変分かりやすく有効であると感じる。生徒にとって進路の道標になることを期待する。</li> <li>・グローバル教育とは英語教育+αであり、そのαの部分大切にしたい。今まででも行われていることではあるが、日本にいる外国人との交流をさらに深めていけると良い。</li> <li>・各評価項目について高い数値目標を掲げながらいろいろな取り組みを行っており、それに対する評価もきちんと行っていると感じる。</li> </ul>
3	<p>①生徒の可能性を引き出し、生徒個々に応じた進路開拓と大学選択</p> <p>②授業の充実と進学講習や模試等の仕掛けによる学力の増進</p>	<p>a. 学年に応じた説明会、講演会、「進学通信」等を利用した意識啓発 →学校生活アンケート 設問14で①②の回答率80%以上</p> <p>b. オープンキャンパス等を利用した主体的な進路研究の実践 →学校生活アンケート 設問15で①②の回答率80%以上</p> <p>c. 生徒・保護者対象進路説明会の実施と保護者からの意見集約 →保護者アンケート 設問8で①②の回答率80%以上</p> <p>a. 各種講習や試験の整理、充実と活用 →学校生活アンケート 設問16、17で①②の回答率80%以上</p>	<p>a. 学内での説明会や進路関係の資料提示に関して役立っているという感触をもっている生徒は72.6%であった。</p> <p>b. 生徒の主体的な進路研究については、76.9%の生徒が行えている。</p> <p>c. 88.5%の保護者が説明会に参加し、その中で81.5%の保護者が参考になったと回答。</p> <p>a. 夏期休業中の講習に参加した生徒が80.9%、参加した生徒のうち77.0%の生徒が学力増進につながったと回答している。試験後の見直しを行っている生徒は75.5%であった。</p>	<p>A</p> <p>B</p>	<p>a. Academic Issuesでの啓蒙活動には手応えが感じられた。他の取り組みについてもより一層の充実を図っていく。</p> <p>b. 推薦入試に強い学校として、より丁寧な企画を置く。推薦入試のイロハについては、進路指導部主体で指導していく。</p> <p>c. 説明会を大きくリニューアルした成果は数字に表れているので、さらに充実させていく。</p> <p>a. 生徒との面談や進路指導に対して、模試の結果や受験レポート等の利用で個別指導の濃度が高くなるように「Compass」の活用を促す等、進路指導部として情報発信していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習に対する生徒の意識は年々向上しているようであるが、ボランティアや相互応援の項目ではここ数年目標に届いておらず残念である。他者への関心が薄いのか、共感が乏しいのか分らないが、社会に参加しているという感覚を大切にしたいと思う。</li> <li>・1年次から生徒だけでなく保護者も対象にした進路説明会が開催されており、早い段階からいろいろな進路情報が発信されていることに感謝している。3年になり進路希望先を決めていく流れでも保護者の意見に配慮していただくとありがたい。</li> <li>・生徒への情報発信のツールとして加わった「Academic Issues」は大変分かりやすく有効であると感じる。生徒にとって進路の道標になることを期待する。</li> <li>・グローバル教育とは英語教育+αであり、そのαの部分大切にしたい。今まででも行われていることではあるが、日本にいる外国人との交流をさらに深めていけると良い。</li> <li>・各評価項目について高い数値目標を掲げながらいろいろな取り組みを行っており、それに対する評価もきちんと行っていると感じる。</li> </ul>
4	<p>①本校Webサイト等を活用した学校関係者への情報発信</p>	<p>a. ホームページの充実と効果的な運用 →保護者アンケート 設問9で①②の回答率80%以上</p> <p>b. 保護者向け連絡システム(ステップアップ連絡帳)の有効活用 →保護者アンケート 設問10で①の回答率80%以上</p>	<p>a. ホームページを見ていない保護者が39.3%おり、閲覧した保護者の78.4%が見やすい、分かりやすいと評価している。</p> <p>b. ステップアップ連絡帳の活用について、とても役立っていると回答した保護者は61.7%であった。</p>	<p>B</p>	<p>a. 部活動等のページの更新頻度に差があるため、定期的な更新を呼びかけるとともに、更新内容の指針等を示す。また、Twitter等のSNSの利用も検討する。</p> <p>b. PDFでの配布やアンケート機能等、多様な利用を方法模索し、柔軟な対応を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習に対する生徒の意識は年々向上しているようであるが、ボランティアや相互応援の項目ではここ数年目標に届いておらず残念である。他者への関心が薄いのか、共感が乏しいのか分らないが、社会に参加しているという感覚を大切にしたいと思う。</li> <li>・1年次から生徒だけでなく保護者も対象にした進路説明会が開催されており、早い段階からいろいろな進路情報が発信されていることに感謝している。3年になり進路希望先を決めていく流れでも保護者の意見に配慮していただくとありがたい。</li> <li>・生徒への情報発信のツールとして加わった「Academic Issues」は大変分かりやすく有効であると感じる。生徒にとって進路の道標になることを期待する。</li> <li>・グローバル教育とは英語教育+αであり、そのαの部分大切にしたい。今まででも行われていることではあるが、日本にいる外国人との交流をさらに深めていけると良い。</li> <li>・各評価項目について高い数値目標を掲げながらいろいろな取り組みを行っており、それに対する評価もきちんと行っていると感じる。</li> </ul>